

2017（平成 29）年 7 月 28 日

内閣総理大臣 安倍晋三 殿

日本原水爆被害者団体協議会

## 速やかに核兵器禁止条約に署名し批准してください

日本被団協は、国連の交渉会議で「核兵器禁止条約」が採択されたことを歓迎し、原爆によって非業の死を余儀なくされた原爆死没者、運動にかかわり道半ばにして亡くなった先達にやっとこの日が来たことを報告し、被爆者、国内外の支援の皆さんと喜びを分かち合っています。

広島・長崎の被爆者は、唯一の戦争被爆国である日本政府が条約に反対したことを、恥ずかしく、悲しく、怒りをもって迎えました。核兵器を禁止することは、世界の趨勢となり、共通の認識となりました。私たちは、日本政府が条約に反対する理由を見出し得ません。

安倍総理、貴方は、オバマ大統領の広島訪問に際し、次のように演説しました。

「ただ、このことだけは間違いありません。世界中のどこであろうとも、再び、このような悲惨な経験を決して繰り返させてはならない。この痛切な『思い』をしっかり受け継いでいくことが、今を生きる私たちの責任であります。『核兵器のない世界』を必ず実現する。その道のりが、いかに長く、いかに困難なものであろうとも、絶え間なく、努力を積み重ねていくことが、今を生きる私たちの責任であります」（2016年5月27日）

安倍総理、この演説は、日本の総理大臣として、核兵器を禁止し、さらに核兵器廃絶に向けて努力する決意を、宣言したものではありませんか。

この決意は、私たちも同じ思いです。決意を、言葉だけにとどめず、ただちに行動に移し速やかに核兵器禁止条約に署名し、批准してください。核兵器国および同盟国に署名、批准を呼びかけ、核兵器のない世界をつくる先頭に立ってください。

被爆者の心からの願いを聞き届けてください。